

「山の日」イベントで森林環境教育を実施

平成30年8月15日
徳島森林管理署

8月11日の「山の日」に、日本の百名山に選ばれている西日本で2番目に高い名峰「剣山」(標高1,955m)において、徳島県主催の「はじめての山登り講座」が行われ、徳島森林管理署からスタッフとして職員3名が参加しました。

時折小雨が降る中、県内各地から初めて剣山に登る親子10組22名をはじめ、総勢66名の方が参加していました。



県内各地から多くの方が参加

徳島森林管理署は、今回のイベントに初めて参加した親子22名を対象に、「森林(もり)のはたらきについて」と題して森林環境教育を行いました。森林県である徳島県に暮らす子供たちに、森林(もり)がいかに私たちの生活や経済活動に深く関係しているかについて、イラストなどを交え分かりやすく説明しました。



職員による森林環境教育の様子

また、このイベントに参加された飯泉徳島県知事ら徳島県幹部に対し、署長

が昨年度「日本の美しい森～お薦め国有林」に指定された剣山自然休養林内で取り組んでいる国有林歩道整備、東屋(あずまや)の整備や多言語看板整備計画について、各現地において説明しました。



飯泉徳島県知事に説明する署長